

令和4年度第1回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和4年7月15日(金)午後3時30分から4時50分まで
2. 開催場所 文化センター2階かおりホール（中ホール）
3. 出席者 中里会長、野崎委員、根本委員、橋本委員、
事務局：本間部長、高花センター長、岸下主査補、長谷川主任主事
4. 欠席者 上田副会長、駒井委員
5. 傍聴者 なし
6. 議題

1 令和3年度の事業実施報告について	（公 開）
2 令和4年度事業実計画について	（公 開）
3 その他	（公 開）
7. 配布資料
 - 資料① 令和3(2021)年度事業報告
 - 資料② プラネタリウム来館者集計(令和3年度)
 - 資料③ 令和4(2022)年度事業計画
 - 資料④ プラネタリウム館来館者集計 令和4年6月
 - 資料⑤ 行事別来館者推移
 - 資料⑥ 文化センターあり方検討委員会第6回会議（概要）
8. 会議での確認・承認事項
 - ①令和3年度事業結果の確認
 - ②令和4年度事業経過の確認
9. 議 事 以下のとおり

事務局	<p>本間部長の挨拶の後、部長より委嘱状・任命状の交付。 各委員自己紹介の後、委員互選により会長を中里委員、副会長を上田委員に決定。本間部長退出後、中里委員の司会のもと会議を進める。</p> <p>議題1 令和3年度の事業実施報告について 事務局より資料にそって、事業内容と結果について報告を行う。 資料①「令和3(2021)年度事業報告」参照</p>
会長	<p>コロナ禍の中で、少しずつ事業が戻ってきているという状況であろうか。では、令和3年度事情報告について質問、意見はあるか。</p>
●●委員	<p>「ドーム時間貸し切り」事業で YouTube の撮影があったというが、白井市プラネタリウム館のクレジットはでたのか。</p>

事務局	<p>ご利用いただいた方が「千葉県の市町村をめぐる」というテーマで撮影しており、今回は白井市をめぐる中でプラネタリウムを撮影場所を選んでくれた。そのため、クレジットというより、撮影の中で、ここは白井市にあるプラネタリウムであると大々的に紹介してくれた。</p>
●●委員	<p>それだけ宣伝をしていただくと、お金をもらうのが申し訳ない感じである。もう 1 点、「皆既月食直前投映」に比べて「部分月食直前投映」の来館者数が少ないのは、ネーミングが良くなかったのではないか。「部分月食」ではあったが、「ほぼ皆既月食に近い部分月食」であったので、そこを強調したらよかったのではないか。</p>
事務局	<p>ネーミングは重要である。参考にする。</p>
●●会長	<p>「にんさんぷラネタリウム with 図書館」は、新型コロナウイルスの影響で、平日だと少ないとのことだが、コロナ前はどうかだったのか。</p>
事務局	<p>「にんさんぷラネタリウム with 図書館」は、もともとは「マタニティコンサート+α」という妊婦さんを対象とした投映であったが、妊婦さんの数の減少や、出産前も仕事等で忙しい方が増えたためか、参加人数が減ってきていた。以前は 1 回 30 人程の来館者数があったが、7 年ほど前から 10 人前後に減少。そこで 2016 年に対象を産婦人科にも広げ現在の「にんさんぷラネタリウム with 図書館」とした。対象者を広げたことによって人数は増えて、1 回の来館者数 20 人程に回復した。</p>
	<p>来館者数は、減少気味ではあったが、コロナで更に減った感じである。</p>
●●委員	<p>とても良い事業なので、これからもっと来館者が増えてくることを望む。</p>
●●委員	<p>「ちびっ子星の絵展」はコロナで中止したが、この様な事業は、子どもに機会を与えるうえで、継続すべきであった。コロナで人を集められないという会場の都合もあるかもしれないが、絵をかいてもらい掲示するのであれば、コロナ禍でもできたのではないか。</p>
●●委員	<p>その通りで、今の年長さんは、コロナ禍で経験できることが制限されてしまった。絵を見に行くのも、個々に見に行くので、密にはならない。子どもたちに多くの経験をさせる上でも、続けてほしい。</p>
事務局	<p>「ちびっこ星の絵展」は、約 180 cm×120 cm という大きなパネルに作品を掲示する。参加する園によっては作品を作る時に、子どもたちが密集してしま</p>

	<p>うというので、開催を見合わせた。また、毎年、プラネタリウムを見学した後に、作品作りに取り組む園が多いのだが、プラネタリウムに、この2年間来られなかったというのも中止した要因の1つである。今年度は再開する。</p>
●●委員	<p>プラネタリウム館は個人的にも利用している。</p> <p>一般向け投映の来館者数が、投映によってばらつきがあるのはなぜか。「へびつかい座」の番組が夏休みで多いのはわかるが、他の「望遠鏡」は多いが他は少ない等なにか理由があるのか。</p>
事務局	<p>投映回数によって変化もするが、時期的に来館者の多くなる時期と少なくなる時期がある。秋の運動会シーズンや冬の15時以降などは来館者が減る傾向がある。</p>
●●委員	<p>一般投映の集計に、人数だけでなく、投映回数も入れた方が良い。</p>
会長	<p>令和3年度プラネタリウム事業報告について他に意見はあるか では、議題2の令和4年度事業実計画について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題2 令和4年度の事業計画について</p> <p>事務局より資料にそって、現在までの事業実施状況及び計画について説明をおこなう。</p> <p>資料③「令和4(2022)年度事業計画」参照</p>
事務局	<p>大人向け一般投映の愛称を今年度から「アストロアワー」とした。今まで幼児向け投映を「ロイ君アワー」と呼ぶのに対し、大人向けには、愛称がなかったため。</p> <p>また、昨年度アストロアワーは5つの番組を自主制作したが、今年度は、制作する番組を2本に減らした。ロイ君アワーの3本は昨年度と同じ。そして投映期間も今まで2~3ヶ月だったものを、3~4ヶ月ごとで変えるように長くした。これは、一般投映の番組制作に時間と労力がかかる割に、投映回数と来館者数が少なく、もったいないと感じたため。1本の番組を何回も、じっくりと味わってもらいたいという気持ちもある。</p> <p>イベント投映には人が集まるが、一般投映に人が集まらないということが白井の課題である。せっかく作った番組も、知られないうちに終わってしまうのが残念である。宣伝に力を入れ、いかに一般投映に人を呼び込むか考える必要を感じる</p> <p>投映時間や曜日を変えた「にんさんぷラネタリウム with 図書館」や「どなたでも学習投映」は現在終了した回の来館者数は、それぞれ10人前後だった。</p>

しばらく様子を見る。

シニア向け「プラチナアワー」は同じ内容で木曜と土曜に行くが、こちらは「ひよこ」や「にんさんぷ」と違い、木曜日に来館者が多い。リピーターが多いのも特徴。

6月の星空ライブコンサート「渡辺かづき ジャズピアノ」は定員44人で、前売り開始10日で完売、盛況であった。次回は10月にギターのライブコンサートを予定している。

「星を見る会」は毎回30人の定員に40人から60人の申し込みがあり抽選となる。

「昼間の星を見る会」は今年度再開したが、回数を年5回に減らし「太陽黒点・プロミネンス」を見る会、「金星」を見る会、「ベガ」を見る会とした。以前はほぼ毎月行い、通りがかる人に声をかけて見てもらっていたが、新鮮味が欠けて、望遠鏡をのぞく人も減ってきたため、「金星」や「ベガ」なども入れてみた。

特別観望会は、「皆既月食・天王星食」を見る会を、予約不要、無料で、センター敷地内で行う予定。多くの人 coming することが予想される。

スターキッズクラブは定員20名であったが、応募者が24人だったので、全員受け入れることとした。

今年天文講演会は、昨年度と同じ惑星科学専門の千秋先生をお招きする。前回は「はやぶさ2」の話だったが、今回は地球と火星が中接近する年であり、また日本で火星の衛星の探査計画進行中なので、「火星衛星探査機」の話をお願した。会場は中ホールを予定している。

郷土資料館では、現在「はやぶさ2」のサンプルレプリカを展示中である。相模原市とJAXAが制作し、全国の希望施設200館近くに配布してくれたものである。会議の後に見学してほしい。

最後に、職業体験は、状況を見て受け入れるとあるが、すでに市内の中学生が職業インタビューにやってきた。コロナの関係でまだ、以前のような2日間の職場体験は難しいとのことで、インタビューのみとなった。4~5人のチームが市内各所を回り、興味のある施設数カ所で、そこで働く人に質問をするというもので、プラネタリウムには13の班がやってきた。投映の合間をぬって、3人の職員でかわるがわる対応した。

以上である。

会長

令和4年度事業について、意見質問はあるか。

●●委員

団体投映は、今コロナで減っていると思うが、以前、自分が指導しているサッカークラブで、プラネタリウムを2回ほど利用させてもらった。子どもたちには好評であったが、大人はサッカー以外のことだと反応が良くなく、

●●委員	<p>それから利用がない。スポーツ少年団や文化団体等への働きかけがあると、もう少し利用が増えると思う。</p>
事務局	<p>今回制作番組数を減らしたというが、何人で何本の番組を作っているのか。</p> <p>番組を制作する職員は5人。今年度は、一般投映番組は5本制作予定で4人の職員で担当する。ちなみに、昨年度は8本制作した。その他、プラチナアワーや講座、ライブ等のイベント投映もそれぞれテーマごとに番組制作を行い、イレギュラーであなただけのプラネタリウム等が入ってくる。合わせると、20本以上制作している。</p>
●●委員	<p>番組制作できる者がたくさんいるので、多くの番組ができるということか。 (東大和市は1人で番組制作を行っている)</p> <p>もう一つ、「昼間の星を見る会」の観望方法はどのようにしているのか。望遠鏡をのぞくのか。</p>
事務局	<p>太陽は、投影法で黒点のみの観望にしている。4月はコロナド太陽望遠鏡(プロミネンスを見ることが出来る望遠鏡)は使わなかった。金星とベガは望遠鏡をのぞくことになるが、使い捨ての透明フィルターを準備し、それを接眼レンズにあてて見てもらう。しかし、5月の金星を見る会は、悪天候で中止となった。</p>
●●委員	<p>学校に届くチラシは毎回見させてもらっているが、その他市民の方にはどのように事業の周知を行っているか。</p>
事務局	<p>学校や各センターに配るチラシの他に、「広報しろい」やコミュニティ紙等20件ほどに情報を送り、その内8件程はほぼ毎回情報をピックアップして載せてくれる。時折トップ画面に特集を組んでくれるところがあると、大きな反響がある。先日は地域情報誌「うきうき」がトップ紙面でプラネタリウムを取り上げてくれた。後で、掲載したものをお渡しする。しかし、館で広告宣伝費をもっていないので、載るか載らないかは相手次第である。プラネタリウムは、宣伝が弱く、どうにかしたいと思っている。ネットを活用した宣伝はもっとしたいと常々思っている。</p>
●●委員	<p>皆さんが何をみてプラネタリウムにやってくるのか気になり、その部分に力を入れればよいと思ったが、広告費がないと聞き、そうなのかと思った。</p>
●●委員	<p>広告の件で追加。しろいメール配信サービスに登録すると、プラネタリウ</p>

	<p>ムの情報を受け取ることができる。前回の会議では、コロナで人数制限をしている関係で、メール配信を控えていると聞いたが、最近また情報を流すようになってきた。ホームページやチラシ等でも情報はみるが、その都度流してもらえると、それを見て、では行こうかという気になる方は多いと思うので、メール配信サービスはとても良い。</p>
●●委員	<p>星を見る会の予約方法は、メールか往復はがきとあるが、メールはこの QR コードで申し込むのか。</p>
事務局	<p>そうである。QR コードを読み取ると、名前や人数を書くフォームに飛ぶので、そこに記入して返信すると、こちらに届く仕組みである。</p>
●●委員	<p>QR コードは最近取り入れたのか。</p>
事務局	<p>星見会をメール予約受付とした令和 4 年 2 月からだが、昨年天文講演会のメール予約の時も QR コードは活用した。</p>
●●委員	<p>幼稚園の体験登録も QR コードを利用しているのだが、登録できたか心配で二重登録してしまう人がいる。そのようなことはないか。</p>
事務局	<p>二重登録する人はいるが、そのような時は相手にすぐ連絡を入れる。また、「申し込みする人は、申し込みをしてから 3 日以内に、受付完了メールを送るので、返信メールが来ない場合は、問い合わせをするか、もう一度メールを送ってください」とお知らせしている。さらに参加当否のメールも送るので、申し込んだ人は、最低 2 回はこちらからのメールを受け取ることになっている。今のところこれで問題はない。</p>
会長	<p>他になにかあるか。</p>
事務局	<p>新メンバーを迎えた最初の会議なので、ここでプラネタリウムの開館から今までの来館者の推移を大まかに紹介する。</p> <p>資料② プラネタリウム来館者集計(令和 3 年度)と資料⑤ 行事別来館者推移参照</p> <p>資料②下段に開館当初からの来館者数と歳入が載っている。20 年以上の間、微々たるものではあるが、来館者数も歳入も伸ばしてきた。一時的に、一気に来館者が増える時は、火星大接近のような大きな天文現象がある時である。通常何もしなければ来館者数は落ちていく。少しずつではあるが、来館者数と歳入を増やしてきたのは、職員の努力があったからと自負している。</p>

	<p>次に資料⑤行事別来館者推移のグラフを参照。プラネタリウム館には大きく、学習施設としての役割と生涯施設としての役割があり、行事別来館者数の上位も、学習投映と一般投映の 2 つとなっている。開館当初は一般投映の来館者数の方が多かったが、平成 18 年(2006 年)からは学習投映の来館者数の方が多くなっている。一般投映で落ち込んだ人数は、イベント・講座等の来館者数を増やし、補っているが、常々一般投映に人を呼び込むことが課題とっており、今後の運営協議会においても皆さまのお知恵やご意見を伺いたい点である。とはいえ、新型コロナにより来館者数は激減し、昨年度は少し回復したとはいえ、まだまだ人数制限を行い、人が多く集まるイベントはひかえているというのが現状である。</p>
会長	<p>意見はあるか。</p>
事務局	<p>今回欠席した駒井委員からメールをもらったのでここで読ませてもらう。 『お世話になっております。駒井です。 このたびの、第 1 回プラネタリウム館運営協議会に出席できず申し訳ございません。丁寧にとめられた資料をお送りいただき、ありがとうございます。拝読させていただきました。幅広い年齢層・天文に対する興味も様々な対象の方向けのプログラムがあり、実のあるプログラム構成に、改めて感銘を受けております。 学習と投映に対する姿勢は特に、他館も学ばせていただくべきものと常々思っていたのですが、「どなたでも学習投映」として、一般にまで枠を広げていることに驚きました。※余談ですが、個人的に小学校教員向けの投映を進めており（コロナで中断）、今秋頃に実施したいと考えていた背中も押しいただきました！ 「白井市はプラネタリウムがある街だよ」と耳にすることがあります。長谷川さんはじめ、皆様のご尽力に頭が下がるとともに、今後も引き続き白井市文化センタープラネタリウムが、全国のプラネタリウム館を（熱意で）牽引してくださることを切に願っております。』</p>
会長	<p>では、次にその他の議題として、文化センターのあり方検討事業についてお願いします。</p>
事務局	<p>あり方検討事業について 資料⑥ 文化センターあり方検討委員会第 6 回会議（概要）参照 今回、新メンバーもいるので、あり方検討委員会について概要説明を行う プラネタリウム館、郷土資料館、図書館、文化会館からなる文化センターは開館 28 年が経過した。老朽化が進み、機器や設備の修繕・更新には多額の</p>

	<p>費用を要する。文化会館大ホールを大規模改修する際には、建築基準法に合わせて改修する必要があり、市は、文化センターの今後のあり方について検討する「あり方検討委員会」を設置し、拡大、現状維持、規模縮小、廃止について総合的にゼロから検討を進めている。検討委員会は、今後、令和4年度中に提言をまとめ、教育委員会に提出。市はその提言を受けて、文化センターの今後のありかたに関する方針を策定する。</p> <p>市が今後迎える少子高齢化や人口減少を見据え、財政的な面も含めて検討を進めているため、プラネタリウムについては運営経費、機器のリース料、入館料、採算性、近隣のプラネタリウムの配置状況について、委員の方から意見や質問が出されている。事務局としては、採算性ではなく、生涯学習の施設であることや、児童生徒向けの学習投映に力を入れていることを説明しているが、次回の会議において、再度ランニングコストもふまえ、プラネタリウムの今後の方向性を検討することとなっている。そこで、運営協議会の委員の方からの意見を、次回8月の会議で報告するのでお願いする。</p>
会長	意見のある方はお願いします。
会長	<p>プラネタリウムが10キロ圏内に5館程あるというが、幼稚園側からプラネタリウムに行くとなると、保育時間内に見に行けるかどうかということを念頭におく。そうすると保育時間は4時間しかないので、市内にプラネタリウムがあるというのは、すごく便利で行きやすい。市内の幼稚園・保育園がほぼすべて、そして近隣の園も利用しているというので、近隣に5館あるというのは、特に問題ないと思う。</p>
●●委員	<p>小学校の教諭として、存続は是非してもらいたい。</p> <p>子どもたちは、体験だったり、具体的だったりでないと興味がわかず、教科書・紙上のものだけでは学べないことがたくさんある。なので、実際プラネタリウムに来る、そしてここで星について学ぶというのは、大変貴重な場であり、そこに関しては、何度も言っていただきたい。小学校学校教育として市内にこのような素晴らしい施設があり、利用できるというのは子どもたちにとって大変貴重な機会だと思うのでこれからもお願いしたい。</p>
●●委員	<p>議事録とは関係ないが、以前、高校生も子ども料金にしたと思うが、高校生の利用はどれ程か。データーに出ないと思うので、感覚的で良いので教えてほしい。</p>
事務局	現場の感覚として、非常に少ない。

●●委員	この世代にもう少しアプローチできると良い。
事務局	その通りである。東大和市で行っている高校生の星座解説をユーチューブで見たが、参考にさせてもらうところが多い。
●●委員	プラネタリウムには関係ないが、建築関係の仕事をしていた自分の目で見ると、文化センター3階は、今の消防法で見ると危ないのではないかと。館ができた当時の消防法と変わっている。最近放火事件なども起きており、郷土資料館の入り口あたりで放火されると、入り口と非常口が近いので中の人は逃げられない。3階ロビーでも放火されると逃げる場がないのではないかと。なので、他の建物も含め、市として検討したらよいのではないかと。
事務局	プラネタリウムに関する意見は、まとめて、あり方検討会議で報告させてもらう。設計上の件については、今後改修等の方向性が出た時に、危険箇所等、新しい建築基準法に適合させる形で進めていくのではないかと。意見として参考にさせていただく。
会長	ではこれで、令和4年度第1回プラネタリウム運営協議会を終了とする。 以上

※後日会議を欠席した上田委員より、あり方会議へ以下の意見をいただく。

中学校の学習指導要領が新しくなり、知識を活用する能力、思考力、判断力、表現力をつける学習を行っていくことになった。中学3年の天体学習は、空間的、時間的にも教室や理科室の紙面上で思考することが難しい。そのような時、市内のプラネタリウムで学習できると大変効果的な学習となる。